

令和3年度使用中学校の教科用図書  
選定委員会報告書

令和2年8月

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書

選 定 委 員 会 報 告 書

教科 ( 国語 ) 種目 ( 国語 )

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>基礎基本を重視し、3年間を見通してその定着を図れる構成であり、実生活に結びつくことを目指した内容となっている。学習のポイントやヒントが具体的に示されているため、生徒が主体的に学習できるように配慮がなされている。ただ、「学びの扉」は学習のポイントがやや分かりにくい。全体的に情報量が多いため、文字が小さく感じられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
15・三省堂	<p>「学び方を示す」というコンセプトがはっきりしており、生徒が主体的に学び、反復練習することで力がつくと考えられる。他教科や実生活につながる活動や題材が充実しており、探求的な深い学びが期待できる。資料編が充実しており、自主的な学習の助けとなるよう、使いやすさを考えた構成となっている。ただ、二次元コードの説明が不足しており、指導する際、配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>「学びのチャレンジ」という新たな試みがあり、これからの社会で求められる読解力・表現力を育成しようとしている。SDGsや多様なメディアを取り上げるなど、今日的な課題に対応しており、主体的な学びを実現する構成である。「学びナビ」で学び方を身につけさせようという姿勢はあるが、3年間を通しての系統性や説明がややわかりにくい部分もあり、指導する際は工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
38・光村	<p>考え方のツール「思考の地図」や各教材における「学習の流れ」の明確な提示などにより、生徒が自ら考え、自分自身や他生徒との対話を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現できる構成である。キャリア教育に関連した内容が取り上げられ、さらに社会の変化に対応できる力を身につけられる内容であり、実生活にも生かせるよう工夫されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書  
選 定 委 員 会 報 告 書

教科 ( 国語 ) 種目 ( 書写 )

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>第1学年から第3学年までの合本であり3年間の学習の流れがわかりやすい。楷書、行書のポイントがわかりやすく、硬筆で導入とまとめができるように配列されている。紙面は色や学習要素の数を抑え、学習に集中しやすくしたり、学習要素を同じ位置に配置したりするなど、誰もが見やすいように配慮されている。また、左利きの生徒が書きやすくなるように書き込み欄を下に設けるなどの配慮がある。単元によっては文字数が多く、学習内容の難易度がやや高い。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
15・三省堂	<p>第1学年から第3学年までの合本であり、3年間の学習の流れがわかりやすい。毛筆で学んだことを硬筆で活用できるよう配列されており、ページの色分けによって何を学ぶ箇所なのか明確である。また、学校生活や日常生活で生かすことができる資料も充実している。ただし、学んだ内容を活用する教材が各学年で一つしかなく、やや不足している。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
17・教出	<p>見出しが学年ごとに色分けされ、教材の文字数に適切な配慮がある。3年間の学習の流れがわかりやすい。教材の文字数にも適切な配慮がある。毛筆で学んだ内容を硬筆でまとめることができ、それを日常生活や学校生活で生かすことができるよう配列されている。また、話し合い活動の観点がはっきりしているため、生徒自ら考え、判断する力も効果的に養うことができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
38・光村	<p>第1学年から第3学年までの合本であり、3年間の学習の流れがわかりやすい。B5版であり、机上で配置しやすい大きさである。紙面はシンプルな色使いでまとめられているが、もう少し見出しの色分けがあった方がわかりやすい。また活用教材が少なく、目標や壁新聞など学校生活に必要なものに限られている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 地理的分野 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>「問い」を軸に単元のまとまりを重視した紙面構成であり、単元を貫く探求課題の設定、1単位時間ごと学習課題の提示と学習課題の解決、単元を貫く探求課題の解決により、課題解決的な学習が実現できるように工夫されている。また、生徒の主体性が高まるようなコーナーが随所に網羅されているが、フォントが細く若干見づらい面もある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>各紙面の情報量が少なく、簡潔な紙面構成に特色がある。一枚一枚の写真で着実に地理的な見方や考え方を養おうとする工夫がみられる。情報量が絞られているため、生徒が関心をもち、主体的に学ぶ活動、探究的に学ぶ活動を進めにくい面がある。本市の生徒にとって身近な内容は掲載されているものの、やや少ない。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
46・帝国	<p>地域の姿が見える写真とイラスト地図は生徒にとって親しみやすいものになっている。また、地域の特色を着実に理解できるよう明快で簡潔な紙面構成となっており、章末の振り返りも充実している。日本地理の学習において、本市の生徒にとって身近な内容が多く見られ、フォントもはっきりしていて見やすい構成となっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
116・日文	<p>各紙面の情報量が少なく、簡潔な紙面構成に特色がある。地形図と主題図の対比、写真・イラストと統計資料の対比など比較の視点からの工夫がみられる。情報量が絞られているため、生徒が関心をもち、主体的に学ぶ活動、探究的に学ぶ活動を行う上で、配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 歴史的分野 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>基礎的事項の習得、資料活用の技能などの能力を身につけさせるための工夫が見られる。図や写真などの資料が豊富で、資料の大きさや数、文章の量などのバランスもよく、見やすい。調べ学習をするための補助になるマトリックスやくらげチャートなどの思考ツールを掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組める内容になっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>小單元ごとのタイトルの表現は学習内容を切り取り、生徒の興味を引くように工夫されており、主体的な学習へとつなぐ役割を果たしている。豊富な資料は本文の内容に合っており、その読み取りからの授業展開がしやすい。さらに視点を変えてとらえ直す「特設ページ」により多面的・多角的に考察できるようになっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
46・帝国	<p>全体的に資料が豊富で、生徒が興味関心をもち学習しやすい内容となっている。資料の読み取りや言語能力を育てるための課題や活動が掲載されており、技能活用能力や思考力を高めるための工夫がされている。しかし、資料が多すぎるページやルビの多さから見づらいつとを感じる部分がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
81・山川	<p>資料やコラムが多く、生徒が興味・関心をひくような工夫、多くのイラストや表が用いられ歴史を大観しやすいように工夫されている。しかし、内容的には、中学生にはやや高度な記述が見られる。また、資料を詰め込みすぎて、やや煩雑になっている部分がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
116・日文	<p>レイアウトは見やすく活用しやすいように整えられており、写真や工夫された図版も豊富であり、色調も見やすい。基本的人権や共生社会形成に関わる本文記述が充実し、歴史を多面的・多角的にとらえるための様々な特集ページも多い。生活や文化を掘り下げる思考を育てるための工夫もされており、生徒が主体的に発展的な学習に取り組み、本市が推進するキャリア教育を進める上でも効果的である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
227・育鵬社	<p>各章の導入部分に様々な工夫があり、興味関心をもって学習に取り組めるようになっている。特集記事も多く、写真やイラストの配置も効果的で、色使いに色覚障害への配慮もされている。しかし、岡山県関連の記載が少ないため、指導の際には工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 公民的分野 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>単元のまとまりを重視した構成がなされている。単元導入時に単元を貫く探求課題を設定し、その課題に迫るために1単位時間ごとに問いを位置付け、単元末でこれまでの問いを振り返りながら探究課題に取り組むといった、学習を段階的に深めていけるような工夫がなされている。1単位時間の中で、公民的な見方・考え方を活用して考察するコーナーの分量に差があるため、学習展開の時間の工夫など、指導の際に配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>各章の学習を見通す導入ページから、本時、特設、学習のまとめページと一連の学習活動を通じて、生徒の深い理解を促せる構成となっている。視点を変えて学習内容を捉えなおす「特設ページ」では、今日的な課題をテーマとした例を示し、興味深いページも設定されている。導入ページで取り上げている話題は、興味深いものであるが、生徒の実際の生活により密着した話題を取り上げるなどの工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
46・帝国	<p>各章の導入では、イラストを用いて学習する内容のイメージがしやすい。また、見通し・振り返り学習がしやすい構造となるよう導入から本文、まとめへと学習が深められるよう問いが設定されている。現代社会をとらえる際に働かせる見方・考え方が「章の学習を振り返ろう」の章末の学習場面にまとめて記載されているため、導入時から本文にかけての学習では、見方・考え方について取り扱う際に、新たにテーマを示すなど、工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
116・日文	<p>各編の導入での、身近な場面の例示に始まり、本文ページから編末のまとめにかけて段階的に見方・考え方を働かせる問いが設定されていて、各編の学習の流れがつかみやすい。また、見方・考え方については、学習課題に対して具体的な例示が「見方・考え方」コーナーで示されており、思考の流れがイメージしやすい。教科書全体を通して、SDGsの観点が各所に取り入れられており、持続可能な社会の形成に積極的に関わる意識を育てつつ、玉野市で特に求められているキャリア教育推進に寄与できると考える。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

<p>225・自由社</p>	<p>見開き右下に「ここがポイント」として具体的なまとめが示されていて、1単位時間で何を学ぶか分かりやすい。</p> <p>話題性のある題材が多く、全体的に文章量が充実している。しかし、文字数（文字情報）が多いため、様々な資料を適切に収集、選択して、多面的多角的に考察する公民的分野の学習では、教科書に付け足して、取り扱う事象の関係を図や表にして表すなどの視覚支援が必要であり、使用の際に配慮が必要と感じる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
<p>227・育鵬社</p>	<p>話題性のある内容を多く取り上げ生徒に興味を持たせるよう工夫されている。見開きの1単位時間の授業だけでなく、各章の導入部で学習内容の趣旨をとらえやすくするための構成がなされ、段階的に多様な言語活動に取り組めるようになっている。各章導入部で取り上げている内容は、展開部の本文で取り上げている内容と同程度の内容であり、導入部に取り扱う内容としては、難易度が高く、生徒が実感を伴って考えることがしづらいと考える。キャリア教育の視点での記載が少なく、使用の際、工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 地図 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>歴史的分野、公民的分野でも活用できる資料が多くあり、関連付けて学習することで深い学びにもつながるように工夫されている。また、巻末には資料索引があり、テーマに沿って必要な資料を探することができるように工夫されている。巻末には、「日本の周辺」として地図と竹島、択捉島、尖閣諸島などの写真が掲載されており、領土を巡る問題についても記載されている。生徒が日本の領土を巡る問題について認識を深められるようになっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
46・帝国	<p>サイズもA4と大判化し、レイアウトが統一されているため、見やすさの工夫がされている。また拡張したことで、多くの地域が同じページに入り、地域間の結びつきが捉えやすくなっている。また、防災資料が多く掲載されていることで、防災について考える機会も増え、防災意識を身に付けることにもつながる。また領土については、日本の領土を巡る問題について正しく認識できるように配慮されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（数学） 種目（数学）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>各節の最初に「学習課題」やQを設定しており、見やすいレイアウトになっている。全体的に問題解決的な学習を重視した構成になっており、生徒が数学的な見方・考え方を働かせたり、ふり返って考えたりするための工夫が多くみられる。また、問題解決に必要な基礎・基本を定着させる配慮も充分なされている。第1学年の教科書において、指数の学習の前に素因数分解の学習があり、指導に配慮が必要とされる部分がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
4・大日本	<p>第1学年の巻頭に、数学の学習としての問題発見・解決の流れを紹介する「数学の世界へようこそ」が設定されており、問題解決の仕方が身につけられる工夫がある。巻末には「課題学習」や「社会にリンク」や「MATHFUL」など数学が私たちの生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる読み物が多数掲載されている。数学への興味を持たせる内容が数多くあり、関心のある生徒には有用だが、少し文字が多くなっているページがあり、見づらさを感じる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
11・学図	<p>すべての章で、スムーズな数学的活動につながる構成がされており、生徒にとって学習のサイクルがわかりやすいものになっている。さらに、身の回りにある数学にも多くふれられており、生徒が身近に「数学」を感じることができる。ただ、生徒にとって1単位時間で何を学べば良いかが、わかりにくいレイアウトとなっているところもある。また、他教科との関連性が明確に示されておらず、教科横断的な学習の観点では工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>すべての章で、学習の準備や導入課題に取り組みせ、章の学習を進めている。また、章末には「学習のまとめ」や「章の問題」が設けられ、章の学習を振り返り、まとめができるなど、学習内容を円滑に定着できるように工夫されている。巻末には、既習内容をまとめた「学びのマップ」や家庭学習の充実が図れるような補充問題、探究的な学習ができるような問題等が設けられており、個に応じた学習を進めていくことができるようになっているが、文字の割合が多く、隙間があまりないページもあり、やや読みづらい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

<p>6 1 ・ 啓林館</p>	<p>巻頭から始まる「みんなで学ぼう編」と巻末から始まる「自分から学ぼう編」で構成されていて主体的に学びに取り組めるように工夫されている。教科書の様々なところに QR コードを配置して、授業の補助や家庭学習のサポートなど様々な場面で活用できるようになっている。「力をつけよう」では、章の学習が終わったあとに取り組む、総仕上げができるように工夫されている。問題の難易度のバランスが良く、個々の理解度に合わせて学習を進めていくことができるようになっている。また、さまざまな職業に関連する題材が掲載されているなど、本市の進めるキャリア教育への配慮がなされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
<p>1 0 4 ・ 数研</p>	<p>全体を通して、数学と日常の事象を関連付けながら学習を進めるための工夫が多くみられる。また、既習事項を確認しながら学習を進める配慮も随所に見られる。さらに、キャラクターを用いた対話場면을掲載することで、思考の過程がイメージしやすいようにつくられている。しかし、配色が多すぎる面があり、生徒にとって何が重要なポイントなのかが分かりにくいように感じられるため、生徒のみで試行錯誤しながら取り組ませる課題場面では配慮を要する。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
<p>1 1 6 ・ 日文</p>	<p>すべての節において、深い学びが実現できるように問題解決の過程が見えるような構成となっている。巻末には、自分の考えを整理し、互いの考えを伝えやすくすることができ、より考える力や説明する力を高めさせるワークシートが設けられている。さらに、巻末の「数学マイトライ」では、個に応じた家庭学習や課題学習の充実が図れるような補充問題や研究課題、数学を通してのキャリア教育に関するコラム等が十分に設けられている。ただ、裏表紙には図形領域のみのまとめであるため、1年間の学習内容をスムーズに確認させる手立てが必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（理科） 種目（理科）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>全体的に写真が豊富に掲載され、生徒の関心が高まり、教科書に親しみをもちやすくなることが期待できる。その結果、理科への興味をかき立て、学習の意欲を高められるようになっている。単元末には、振り返りの問題が用意され、基礎的内容の定着を図ることができる。また、生徒の主体的・対話的で深い学びへの手順が示されていること、ICT活用の際のつまずき対応など、生徒自身の力で探究する際の手助けとなるよう配慮されている。しかし、教科書のサイズが縦長で、扱いが難しく、情報量が多いため、使用に配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
4・大日本	<p>全体的にシンプルな構成で、単元の扉の写真や、見通しを持って学べる工夫など、生徒が主体的に学び基礎基本を定着させられるような工夫が見られる。B5版と小さいが、見開きでも全体が見やすく、生徒が注目すべき箇所がわかりやすい。教師が工夫も取り入れながら授業展開をしやすい構成となっているが、自ら工夫して生徒に探求させるプロセスを入れて授業を構成するのが難しい。地学分野の資料写真も豊富で見やすく、理解の助けとなるが、一つ一つのサイズは小さい。教具は一切付帯していないので、観察実験以外の模型やモデル等を使っての学習は教員が制作することになる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
11・学図	<p>「学びの交換」は面白いアイデアであり、授業で活用する場面や発問、そのための資料についての検討、グループ討議における意見交換での活用、科学的根拠をもとに現象を捉え考察する場面での活用など、汎用性が高い。しかしホワイトボードのように黒板に貼ることはできず、クラス全体への意見交流は難しそうである。また、「学び続ける理科マスター」を設け、学習を通して自分の変容を確認したり、他への発信により考えを深めたりできるなど、より深い学習に取り組めるような配慮がなされているが、その配慮が細かすぎため、説明に時間を要す可能性があり、器具や設備などを使用する際、配慮が必要と思われる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

<p>17・教出</p>	<p>科学的探究の流れを意識した構成になっている。過去の学習との関連や他教科との関連、高等学校での学習へのつながり、私たちの生活とのつながりなど、キャリア教育を意識した流れは、本市での活用にも有効である。最も関連の深い数学とのつながりも具体的に記されており、復習しやすい。また、重要語句の整理や練習問題の付属など、基礎知識の定着もしっかり行われている。実物を見たり、触れたりすることが難しい地学分野での効果的な写真やイラストの使用により、生徒が理解しやすいような工夫がなされているが、構成に関しては画一的な授業に陥る可能性がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
<p>61・啓林館</p>	<p>どの生徒にとっても、見通しをもって科学的に探究する活動を段階的に行うことができ、思考力・表現力を高める工夫が随所にみられる。また、本文や実験後の解説も丁寧な記述が多く、大きく見やすい図や写真を効果的に配置するなど、理解を深める手立てがなされている。全体のバランスがよく、教師の裁量や児童生徒の状況に応じて柔軟に使用できる内容構成となっている。授業だけでなく、QRコードからの動画閲覧など家庭学習を主体的に取り組むための仕掛けもあり、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（音楽） 種目（一般）

発行者の番号・名称	総 評
17・教出	<p>ウェブサイト「まなびリンク」の充実度を筆頭に、全般的に情報量が多く、主体的に発展的な学習を進めることが可能な内容になっている。一方で楽曲同士の特徴を比較し、それぞれの良さを味わう活動は難易度が高く、単元によっては情報量が多すぎるものもあり、活用する際には活動内容を精選して提示するなど、一定の配慮が必要となる教材もある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
27・教芸	<p>全体の構成や教材の配列に優れ、生徒の発達段階に応じた適切な楽曲や題材が採用されている。音楽の要素など、必要な情報が簡潔にまとめられており、ワークシート型のページも多く採用されている。楽譜や写真などの資料も豊富であることから、自宅等でも主体的に学習に取り組み、必要な知識や技能を身に付けることができる構成となっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書  
選 定 委 員 会 報 告 書

教科（ 音楽 ） 種目（ 器楽 ）

発行者の番号・名称	総 評
17・教出	<p>楽器の技能習得のみに焦点を当てるのではなく、主体的・対話的で深い学びを促進する活動も含まれており、非常に多くの情報が掲載されている。一方で、難易度の高い楽曲が掲載されており、活用する際には到達段階に合わせて内容を精選するなど、一定の配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
27・教芸	<p>いずれの楽器についても基礎的な内容と発展的な内容が示されており、生徒集団や個々の達成状況に応じて教材を選択することが可能になっている。楽譜等のレイアウトも簡潔で見やすく、教材も親しみやすい内容のものが多く掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（美術） 種目（美術）

発行者の番号・名称	総 評
9・開隆堂	<p>題材ごとに学習の目標が3観点で示されており、具体的な学習の重点を「学習のポイント」として示している。発想や構想の方法などを双葉のマークで示している。話し合い活動等により発想や構想を広げる場面の設定がされている。QRコードで技法動画、作家の解説などを視聴できる。道徳をはじめ、他教科との関連についても取り上げられている。宇野のチヌについて掲載されている。視覚的に読み取れるマーク、ページ下に題材同士の関連が示されている。全体的に活字がやや小さく、紙面の余白が大きく感じられるので、生徒にとって、読みづらさを感じる部分もあるため、使用の際配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
38・光村	<p>生徒が発想や構想、表現の工夫をしたり、表現と鑑賞を関連させたりできるよう鑑賞の問いかけやアイデアスケッチ、制作の流れが意識的に提示してある。鑑賞作品も日本や西洋の有名美術作品だけでなく、生活や社会で活用されているデザインや工芸作品なども紹介されている。これらの作品や生徒作品にもコメントが紹介されており、主題を考えたり、個人で発展的に学んだりすることもできる内容になっている。生徒が話し合う姿や制作する姿も紹介されている。また、QRコードから作品をいろいろな方向から見たり、作品解説の音声ガイドをきいたりすることができる。題材の目標が表現と鑑賞の2つにまとめられているので、各題材に応じて目標に具体性がもう少しあるとよい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
116・日文	<p>「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊に分けられ、発達段階に応じた題材や指導内容を意識できる内容である。巻末の「学びを支える資料」は、発想や構想の仕方や技法、作品の紹介などの説明が掲載されている。現在活躍する芸能人など著名人の方からの美術に関するコメントもあり、美術を学ぶ意義につながる。QRコードにより動画で話を聞くことも可能であり、作品や技法を画像等で確認できる。美術作品だけでなく、デザインや工芸の作品も豊富に紹介され、生活や社会の中の美術の働きを意識できる内容になっており、伝統文化や美術文化の理解や今後の生活で美術を楽しむ活用することにつながる。作品画像が大きく迫力があり、生徒が考えたり対話したりする写真も豊富に掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（保健体育） 種目（保健体育）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>身近な話題や新聞記事などから導入に入り、学習課題につなぎ、得た知識を活用し、生活の中に広げるという流れにより構成されている。1時間の主な流れが「見つける」、「課題の解決」、「広げる」で示され、学習の進め方が明記されており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。文字や写真、図の大きさや鮮明さ、バランスが良く、読みやすく、見やすいページに工夫されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用に適している。</p>
4・大日本	<p>「学習のまとめ」では、重要なことばがキーワードとしてまとめられている。各章の終わりには「学びを生かそう」のコーナーがあり、学習したことを生かして自分の意見をまとめ、表現する工夫がされている。全体的な構成が統一されており、見開き左ページに解説、右ページに資料とまとめられ、生徒にとってわかりやすいレイアウトになっている。文字や資料の量が多く、全体的に文字の大きさが小さめである。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用に適している。</p>
50・大修館	<p>「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」の流れで構成されているが、1ページあたりの情報量が多く、学習の流れがつかみづらく、表記と配置に工夫が必要である。「章のまとめ」では「思考・判断・表現」、「学びに向かって」という問題が取り上げられ、章全体で学んだ知識を活用して、自分の考えを記述する工夫がされている。グループで話し合ったり、協同したりしながらの学習に関する、行い方等の説明が少ない。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用に適している。</p>
224・学研みらい	<p>「学習の目標」から「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の順に構成されており、課題解決的な授業の流れがわかりやすく表示されている。「説明する」「話し合う」など、学びの方法が明示され、課題に「協働」マークが付けられるなど、主体的・対話的な学びを実現するための工夫がなされている。「自然災害から身を守るために」では、実生活に役立つ内容が充実しており、体育編にも関連した内容が加えられており、防災教育にも大変効果的である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用にふさわしい。</p>

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書  
選 定 委 員 会 報 告 書

教科 ( 技術・家庭 ) 種目 ( 技術的分野 )

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>技術の「見方・考え方」を働かせた深い学びを実現できる教科書に仕上がっている。ガイダンスで「見方・考え方」についてきちんと説明があり、制約条件下の元、技術の最適化を考える構成が各編で組み立てられている。特に「問題の発見」の場面が大事にされており、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる。また、結果とともに過程を振り返る場面が繰り返し設定されていることで、新たな問題の発見など生徒の視野を広げることできる。見開きの2ページで内容を完結させ、中の文章や写真・図版の配置も整然としているので、使いやすい構成である。色合いやフォントの工夫がされており、文章が読みやすい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
6・教図	<p>フォントが大きく、文の構成も工夫して、見やすい教科書である。また、別冊を作り、作業中に学習したことを確認しやすくなっている。しかし、教科書の本体が他社より厚く、さらに別冊も加わるため取扱いが煩雑である。練習題材を通して作業の基礎・基本を学ぶ構成や技術による問題解決の過程を本題材の製作を通して学ぶ構成により、知識・技能の定着だけでなく技術の「見方・考え方」を深めやすくしている。編末の学びを深める章は将来のために技術をどう活かすことができるかじっくり考える構成になっているが、制約条件下で技術をどう最適化させていくか、教師の工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
9・開隆堂	<p>技術の視点で物事を考えられるよう生活や社会の中にある技術と「見方・考え方」に気づき、「見方・考え方」をはたらかせて問題を解決していく構成になっている。各章各編の最後に振り返りやまとめをすることで、「見方・考え方」の定着にも力を入れている。また、実習例に合わせて技術による問題解決の過程を多数掲載しており、思考の幅を広げる工夫がある。見開きで紹介することで情報量は十分だが、やや詰め込みすぎになっており使用の際に配慮が必要である。豊富な写真や図版、QRコードを利用したネット動画で作業やしくみなどをわかりやすく説明する工夫がされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書  
選 定 委 員 会 報 告 書

教科 ( 技術・家庭 ) 種目 ( 家庭分野 )

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>教科書全体を通して様々な工夫がされており、「自立と共生」を目指すことのできる教科書となっている。掲載されている写真や図の大きさも実際のものと同じ大きさにするなどの工夫があり、実感を伴った学習を行うことができるように工夫がされている。日本の文化や、今日的な課題についてもちょうどよいタイミングで掲載されている。しかしながら、実習のページの文章での情報量が多く、使用の際、配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
6・教図	<p>教科書全体を通して、学習を進めやすい様々な工夫がされており、指導する側と学習する側、双方にとって使いやすい。特に、課題を解決するための手順を写真等で明確に示すなど、授業だけでなく、生徒主体での活用がしやすいものになっている。また、日本の伝統文化への理解、SDGs に関して持続可能な社会を実現するための内容、本市で重点的に取り組んでいるキャリア教育などの内容が充実している。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
9・開隆堂	<p>教科書全体をとおして、様々な工夫があり、生徒が実感をもちながら学習を進めていくことができる内容になっている。また、SDGs の目標と関連した課題や、LGBT や外国の人、障害がある人との共生など、今日的なテーマが充実している。しかしながら、構成上授業展開を柔軟に取り扱うことはできにくいことや、紙面全体の明るさにやや欠け、特に調理実習例の写真は、あまり鮮明ではないなど、使用には配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

令和 3 年度 使用 中学校 教科用 図書

選 定 委 員 会 報 告 書

教科 ( 外国語 ) 種目 ( 英語 )

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>各ユニットで、4つの技能がバランスよく配置され、取り組ませやすい内容になっている。取り上げている内容も現代に即しており、生徒の興味をひきやすい。小学校から中学校第3学年までの既習内容を少しずつ扱いながら展開されており、定着を図りやすく、入門期には適している。しかしながら、取り扱う英文の量が多いので、時間の配分を考える必要がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
9・開隆堂	<p>新しい言語材料が対話形式で提示されており、言語材料を使う具体的場面がつかみやすくなっている。また、イラストや写真が多くあり、アニメや絵本に関する内容も豊富なため、生徒が興味を持ちやすい内容である。日本の文化と世界の文化を比較が取り上げられており、国際理解を深めることができる。しかしながら、ページによって、情報量に差があるため、授業で使用するには配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
15・三省堂	<p>5領域のバランスに配慮し、統合的に学習できるよう工夫されている。構成がわかりやすく、レイアウトも適度なスペースが確保されており、見やすい。字体がブロック体フォントが多いのも扱いやすい。QRコードや、学習のコツが紹介されている For Self-Study や Lesson ごとに文法のまとめが掲載されており、家庭学習を支援する資料が充実している。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
17・教出	<p>Lesson の各 Part ごとに、5領域が統合的に学習できるように工夫されている。題材は、日本から始まって広く世界に目を向けさせるように構成され、最後には、日本のことを英語で伝えたり説明できたりする力を養うよう工夫されている。英文の量が多く、「読む」活動については、内容を把握するための指導の工夫が必要である。一方、読む力以外については、記載が少なく、技能を伸ばすことが不十分になることも考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>

<p>38・光村</p>	<p>巻末には CAN DO リストが掲載され、目標の到達度を振り返るための「自己評価」が設定されている。帯教材があり、即興のやりとりの指導をするのに効果的である反面、一単位時間での計画を立てる際には、配慮が必要である。学年によって他国の文化や最近のニュース等に関する内容がやや少なく、内容の選択には工夫が必要と思われる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
<p>61・啓林館</p>	<p>全体の分量は、5領域を適切な分量で配置されており、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につける工夫がなされ、段階を踏んで習得できることが期待できる。また、レイアウトや構成は扱いやすくなっている。しかしながら、本文のフォントが小さく、第2学年からは字体が変わるため、読みづらい生徒もいると予想される。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>

令和3年度使用中学校教科用図書  
選定委員会報告書

教科（ 特別の教科 道徳 ） 種目（ 道徳 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>新聞、漫画、写真など、多様な提示が工夫されており、興味を持って多面的・多角的に学べる内容となっている。「いじめ」「いのち」については連続して複数教材を扱っており、3年間の学びを通して理解を深め、実生活に生かすことが期待される。また、題材の最初に主題、題材末に問いがあることで、ねらいにせまる学習活動が展開しやすい。さらに心情円を使った話し合いや問題解決的な学習、体験的な学習など、対話的な学習を通して、主体的に、よりよい生き方を考えられるよう創意工夫がなされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
17・教出	<p>3年間の学びの積み重ねを意識し、感動的な教材、興味関心をひく多様な形式の教材など、生徒の発達段階や実生活に即した教材を系統的、発展的に配置してあり、学びを積み重ねていくことができる内容となっている。導入の「問いかけ」や、「学びの道しるべ」として3つの「問い」が示されていることで、授業の展開はわかりやすいが、体験的な活動や、対話的な学習活動例が少なく、多様な学習活動の展開は難しくなることも考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
38・光村	<p>教材の出典が、著名人の著した文章など、生徒にとってなじみのあるものが多く、提示の工夫も随所に見られ、意欲的に教材に向き合うことができる。めあてが明確に示され、「つなげよう」や「見方を変えて」で自分の考えを多面的・多角的に考えることができる内容となっている。対話的な学びや体験的な活動が充実している分、活動に時間をとられ、自己と向き合い、考えを深めていく時間の確保が難しいと考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>
116・日文	<p>題材末の問いにより、主体的に教材に向かい、これからの自分の生き方について考えられるよう、工夫されている。また、「学習の進め方」に示された役割演技や疑似体験、問題についての議論などを通して、考えを深める活動が展開しやすい。「プラットホーム」により、他教科との関連も考えられる。道徳ノートがあることで、授業スタイルに合わせて柔軟に活用でき、継続的に取り組みやすい反面、書くことが苦手な生徒の中には、負担に感じる生徒もいると思われる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>

<p>224・学研</p>	<p>先人や話題の人物に関する教材が多く、現代的な課題に関わる題材もあり、生徒の興味・関心を引き起こし、身近な問題として考えられるような構成になっている。また、「考えを深める四つのステップ」が示されていることで、授業の進め方を具体的にイメージでき、主体的に取り組めるように工夫されている。対話的、体験的な学習活動により、自分とは違う他者の考え方を取り入れやすくなり、新しい見方や考え方を広げられるような工夫が見られる。しかし、文字が全体的に小さく、密集しているため、文の量が多く感じられる。これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
<p>232・廣あかつき</p>	<p>巻頭の「道徳の時間とは」で、学び方や自己の生き方を考える時間となるよう示されている。各題材で授業の流れが提示され、話し合い活動が展開されるようになっており、ねらいに迫ることができるような工夫がある。先人の生き方や感動教材など、多様な教材が掲載されているが、全体的に読み物教材が多く、読解が苦手な生徒にとっては、より配慮が必要になってくるとと思われる。これらのことから、採択地区において使用することができる。</p>